



2026年1月9日

各 位

会社名 株式会社セイヒョー
代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一
(コード番号: 2872 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 安藤 力
TEL 025-386-9988

2026年2月期通期業績予想の修正及び中期経営計画の取り下げに関するお知らせ

当社は、2026年1月9日開催の取締役会において、最近の業績動向及び今後の事業展開を踏まえ、2025年4月11日に公表いたしました2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）の通期業績予想を修正するとともに、現在公表しております「中期経営計画 2027」を取り下げ、新たな計画を作成することいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2026年2月期通期業績予想の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 4,600 | 百万円 120 | 百万円 125 | 百万円 110 | 円銭 78.62 |
| 今回修正予想 (B) | 4,700 | 10 | 26 | 31 | 22.15 |
| 増減額 (B - A) | 100 | △110 | △99 | △79 | |
| 増減率 (%) | 2.1 | △91.6 | △79.2 | △71.8 | |
| (ご参考)前期実績 (2025年2月期) | 4,484 | 96 | 123 | 119 | 85.68 |

(2) 修正の理由

売上高におきましては、主力のアイスクリーム部門にて「かき氷カップ」や「Marone（マロネ）」シリーズ等の新商品が寄与し、夏季の猛暑も追い風となりましたが、8月以降は降雨の影響により氷菓の販売が停滞するなど影響を受けました。また、和菓子部門では一部製品が低調に推移したものの、仕入販売・物流保管部門は概ね堅調に推移いたしました。

一方、損益面におきましては、原材料価格や物流コストの上昇、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰といった製造コストの上昇が続いているほか、運搬保管料等の販管費が増加し、利益を圧迫いたしました。

さらに、将来の成長に向けた戦略的投資として、森永北陸乳業株式会社富山工場の生産設備を含む資産を取得いたしました。本件は、旺盛な需要に対応するための生産能力増強を目的とした戦略的投資であり、新工場建設に比べて投資額を大幅に抑制しつつ、短期間で供給体制の強化を実現するものです。

この新たな生産拠点の立ち上げにあたりましては、当社基準に基づく製造体制の構築や、既存の製造オペレーションとの円滑な統合を最優先事項として慎重に進めてまいりました。その結果、設備の改修や綿密な試運転調整など、将来の安定稼働に向けた一時的な費用が当初の想定以上に発生いたしました。

当社の事業特性上、夏季に集中して需要が発生するため、第2四半期会計期間に収益が集中する傾向にあります。上記のとおり、コスト上昇及び富山工場取得に伴う一時費用の計上により、第3四半期累計期間の利益は前回予想を下回って推移いたしました。第4四半期会計期間につきましても引き続き厳しいコスト環境が見込まれることから、2026年2月期通期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

2. 中期経営計画の取り下げについて

(1) 取り下げの理由

当社は新たな成長戦略として、森永北陸乳業株式会社富山工場の生産設備を含む資産を取得し、2025年11月1日より「セイヒョー富山工場」として稼働を開始いたしました。

現在公表しております「中期経営計画2027」は、富山工場の取得及び稼働を前提としている内容となっております。また、当社にとって他社工場の取得という新たなスキームへの挑戦であることから、当社既存の製造オペレーションとの円滑な統合や最適化の過程において、慎重に見極めるべき事項も存在しております。

同工場は既に稼働を開始し、今後の大幅な増産を見込んでおりますが、生産能力が抜本的に強化される今後の事業実態と現行の「中期経営計画2027」との間には大きな乖離が生じることから、現行計画を一旦取り下すことといたしました。

(2) 今後の対応と2027年2月期以降の数値目標について

今後、富山工場の稼働状況や2027年2月期以降の業績への寄与等を精査し、新たな成長戦略を反映させた中期経営計画を改めて策定、公表する予定としております。

なお、本日公表しております修正後の2026年2月期通期業績予想につきましては、富山工場の稼働がもたらす影響を織り込んだ数値となっております。

投資家の皆様におかれましては、当社の新たな挑戦と持続的な成長に向けた経営判断に、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※上記の業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上